

昼食は「カレー」それとも「うどん」？

国語の「討論会をしよう」という単元で教室を二分する大きな論題にぶち当たりました。

「昼食を食べるなら、カレーライスがいいか、それともうどんがいいか。」
ディベートです。ディベートは討論と次の点で違ってきます。

一つの論題について話し合う。

賛成派と反対派に機械的に分かれる。

順序やルールを守って話し合う。

審判が勝敗の判定をする。

そこで教室では初めに、

カレーライスを昼食にする理由を3つ



うどんを昼食にする理由を3つ



をノートに書きました。そしてそれをもとにして「ディベート」を始めたのです。初めに聞くと22人中「昼食はカレーがいい」というのが3人「昼食はうどん」が19人でした。それから教室を真ん中から半分に分け、運動場側11人を「カレー派」廊下側11人を「うど

ん派」としました。自分がいくら「うどんがいいなあ」と思っているでも「カレー派」になったらここではカレーがいいという立場で意見を言うことになるのです。ここが討論との大きな違いですね。

さて始まりました。口火を切ったのは「うどん派」でした。

(以下う：うどん派、カ：カレー派)

う：あっさり。おいしく、食べやすい。

う：ゆず胡椒を入れるとおいしい。

カ：お肉が食べられる。

う：しつこくない。

カ：汁が多いし、おいておくと伸びる。

う：急いでいるときには早くていい。

カ：カレーもレトルトだと早くできる。

う：うどんもカップだと早い。

カ：うどんはお湯を沸かさないと。カレーはレンジで「チン」。

う：カレーはおやつに響く。

カ：いっぱい食べると同じ。

う：カレーは味が濃すぎ。

う：つるつるさがいい。

カ：噛まないで食べると消化に悪い。

カ：好き嫌いの問題。

う：結局、個人の嗜好を話しているんだね。

と言うことで、終了後にどれだけの人に影響を与え、考えに影響したかを調べました。すると

カレー派：3人 8人

うどん派：19人 14人

なんとカレー派が5人も増えたのです。つまりこの勝負はカレー派に軍配かな。